



牛の発育状態などを手で触って確認する高校生

牛の目利き 真剣勝負

西予県内高校生の審査大会

農業科などで学ぶ高校生による家畜審査競技県大会が8日、西予市野村町阿下の県畜産研究センターであり、13校の52人が牛の肉付きや将来性を見極める目利きの技術を競った。

乳牛（ホルスタイン種）と肉牛（黒毛和種）の2部門で実施。生徒が最優秀賞、西条農と

野村が優秀賞を受賞。個人では、乳牛の部で野村3年飯田菜景さん、肉牛の部で南宇和3年久保さくらさんが最優秀賞に輝き、2人は10月に熊本県で開催される全国大会に出場する。

大会は県学校農業クラブ連盟が畜産業の担い手の能力向上を目指して毎年開催している。（山内拓郎）個人の優秀賞は次の皆さん。

【乳牛】加茂結衣（西条農） 斎藤こはる（同） 森実晋作（今治南）岡田海来（伊予農）坂橋葉瑠乃（同） 富永太陽（野村）児島純輝（北宇和三間）山崎莉玖（南宇和）

【肉牛】斉藤匠馬（西条農） 神野咲笑（同） 笹下あやの（愛媛大附属）宇都宮朱里（同） 森菜々子（伊予農） 福岡寛（大洲農） 兵頭伊桜里（野村）日野太陽（北宇和） 山田愛加（南宇和）

令和5年6月11日付 愛媛新聞

掲載許可番号d20230612-02